



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社メディopalホールディングス

コード番号 7459 URL <https://www.medipal.co.jp/>

代表者 （役職名） 代表取締役社長

（氏名） 渡辺 秀一

問合せ先責任者 （役職名） 常務取締役管理本部長

（氏名） 左近 祐史 TEL (03)-3517-5171

半期報告書提出予定日 2025年11月13日

配当支払開始予定日 2025年12月2日

決算補足説明資料作成の有無： 有

決算説明会開催の有無： 有 （機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	1,897,562	4.0	25,083	△7.7	34,269	△2.3	22,090	1.7
2025年3月期中間期	1,824,672	2.6	27,162	31.7	35,080	19.7	21,727	26.7

（注）包括利益 2026年3月期中間期 25,040百万円（△29.0％） 2025年3月期中間期 35,271百万円（14.2％）

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	106.80	—
2025年3月期中間期	103.94	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	1,907,622	766,138	32.7	3,037.32
2025年3月期	1,824,984	757,947	33.9	2,979.39

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 623,679百万円 2025年3月期 619,564百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 中間期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期中間期	25,501	5,283	△15,962	274,163
2025年3月期中間期	41,832	△6,520	△14,376	249,016

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	30.00	—	32.00	62.00
2026年3月期	—	32.00			
2026年3月期（予想）			—	32.00	64.00

（注）2025年5月13日に公表した配当予想に変更はありません。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 3,785,000	% 3.1	百万円 52,000	% △6.5	百万円 69,000	% 5.7	百万円 34,500	% △14.3	円 銭 167.28

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は2025年5月13日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議いたしました。2026年3月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。

※ 注記事項

（1）当中間期における連結範囲の重要な変更： 有

新規 一社（社名） 除外 1社（社名） 株式会社MVC

（注）株式会社MVCは、2025年4月1日付で、当社の連結子会社である株式会社アトルを存続会社とする合併を行ったため、当中間連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

（2）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	219,226,042株	2025年3月期	219,226,042株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	13,887,292株	2025年3月期	11,275,805株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	206,838,708株	2025年3月期中間期	209,027,860株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社ホームページの「IR資料室」に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	11
(重要な後発事象の注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間期の連結業績は、以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	増減額	増減率
売上高	1,824,672	1,897,562	+72,889	+4.0%
売上総利益	126,441	130,279	+3,838	+3.0%
(対売上高比率)	(6.93%)	(6.87%)	(△0.06pp)	
販売費及び一般管理費	99,278	105,196	+5,917	+6.0%
(対売上高比率)	(5.44%)	(5.54%)	(+0.10pp)	
販売費及び一般管理費(下記①②除く)	97,844	100,661	+2,816	+2.9%
①事業投資費等	337	3,369	+3,031	+899.0%
②のれん・無形資産償却費(*)	1,096	1,165	+68	+6.3%
営業利益	27,162	25,083	△2,079	△7.7%
(対売上高比率)	(1.49%)	(1.32%)	(△0.17pp)	
上記①②を除く営業利益	28,596	29,618	+1,021	+3.6%
経常利益	35,080	34,269	△811	△2.3%
特別損益	4,693	5,539	+846	+18.0%
税金等調整前中間純利益	39,774	39,809	+34	+0.1%
親会社株主に帰属する中間純利益	21,727	22,090	+363	+1.7%

(*) 2027メディパル中期ビジョンに掲げた成長投資に伴い発生したのれん・無形資産償却費

〔売上高〕

売上高は、前年同期から728億89百万円(4.0%)増収の1兆8,975億62百万円となりました。

- ・医療用医薬品等卸売事業で481億63百万円(4.1%)の増収、化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業で247億8百万円(4.1%)の増収、動物用医薬品・食品加工原材料卸売等関連事業で6百万円(0.0%)の増収となり、全事業セグメントにおいて売上高は前年同期を上回りました。

〔営業利益〕

営業利益は、前年同期から20億79百万円(7.7%)減益の250億83百万円となりました。

- ・売上総利益は、増収により、38億38百万円(3.0%)の増益となりました。売上高比率は前年同期(6.93%)を0.06ポイント下回り、6.87%となりました。
- ・販売費及び一般管理費は、医療用医薬品等卸売事業における事業投資費等が前年同期から増加(**)したことや化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業における人材への積極的な投資や物流費の増加などにより、59億17百万円(6.0%)の増加となりました。売上高比率は前年同期(5.44%)から0.10ポイント上昇し、5.54%となりました。

(**) 当中間期に発生した事業投資費の金額は、2025年5月13日に公表しました連結業績予想に織り込み済みです。

〔経常利益〕

経常利益は、前年同期から8億11百万円(2.3%)減益の342億69百万円となりました。

- ・営業利益は前年同期から減少しましたが、持分法による投資利益の増加等により営業外損益が前年同期から12億67百万円増加したことで、経常利益の減益幅は営業利益と比較し縮小しました。

〔親会社株主に帰属する中間純利益〕

親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期から3億63百万円(1.7%)増益の220億90百万円となりました。

- ・投資有価証券売却益99億38百万円を特別利益に計上する一方で、医療用医薬品等卸売事業における物流業務に関する事業構造改善費用42億91百万円を特別損失に計上したことにより、特別損益は前年同期から8億46百万円増益の55億39百万円となりました。

医療用医薬品等卸売事業

(単位：百万円)

	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	増減額	増減率
売上高	1,167,635	1,215,799	+48,163	+4.1%
売上総利益	74,123	75,563	+1,439	+1.9%
(対売上高比率)	(6.35%)	(6.22%)	(△0.13pp)	
販売費及び一般管理費	62,268	65,889	+3,620	+5.8%
(対売上高比率)	(5.33%)	(5.42%)	(+0.09pp)	
販売費及び一般管理費(下記①②除く)	61,862	62,382	+519	+0.8%
①事業投資費等	337	3,369	+3,031	+899.0%
②のれん償却費(*)	68	137	+68	+100.0%
営業利益	11,854	9,673	△2,180	△18.4%
(対売上高比率)	(1.02%)	(0.80%)	(△0.22pp)	
上記の①②を除く営業利益	12,260	13,180	+919	+7.5%

(*) 2027メディパル中期ビジョンに掲げた成長投資に伴い発生したのれん償却費

〔売上高〕

売上高は、前年同期から481億63百万円(4.1%)増収の1兆2,157億99百万円となりました。

- ・新型コロナウイルス感染症検査関連試薬の需要が減少したものの、医薬品市場の拡大、成長品目や医療機器の販売強化、調剤販路における売上増加等に伴い増収となりました。

〔営業利益〕

営業利益は、前年同期から21億80百万円(18.4%)減益の96億73百万円となりました。

- ・売上総利益は、増収により、前年同期から14億39百万円(1.9%)増益となりました。一方、新型コロナウイルス感染症検査関連試薬の販売が鈍化したことで商品構成比が変化し、売上高比率は、前年同期(6.35%)を0.13ポイント下回り、6.22%となりました。
- ・販売費及び一般管理費は、事業投資費等が前年同期から増加したことで、前年同期から36億20百万円(5.8%)増加の658億89百万円となりました。売上高比率は前年同期(5.33%)から0.09ポイント上昇し、5.42%となりました。

化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業

(単位：百万円)

	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	増減額	増減率
売上高	600,427	625,135	+24,708	+4.1%
売上総利益	44,181	46,532	+2,350	+5.3%
(対売上高比率)	(7.36%)	(7.44%)	(+0.09pp)	
販売費及び一般管理費	30,203	32,637	+2,433	+8.1%
(対売上高比率)	(5.03%)	(5.22%)	(+0.19pp)	
営業利益	13,977	13,894	△82	△0.6%
(対売上高比率)	(2.33%)	(2.22%)	(△0.11pp)	

〔売上高〕

売上高は、前年同期から247億8百万円(4.1%)増収の6,251億35百万円となりました。

- ・物価上昇に伴う節約志向の影響を受けましたが、取引の拡大に加え、購買データを活用して健康志向の高まりや外出需要などに伴う購買行動の変化、インバウンド需要の増加などを的確に捉えた販売活動を展開しました。さらに、食品物流受託の取扱量の拡大や、化粧品・日用品を中心に付加価値の高い新規取扱商材を拡充しました。これらの結果、販売数量は前年並みを維持したことに加え、販売単価の上昇に伴い、増収となりました。

〔営業利益〕

営業利益は、前年同期から82百万円(0.6%)減益の138億94百万円となりました。

- ・売上総利益は、売上拡大と付加価値の高い新規取扱商材の拡充に伴い、前年同期から23億50百万円(5.3%)増益の465億32百万円となりました。売上高比率についても消費者ニーズに対応した付加価値の高い商材の販売を強化したことにより前年同期(7.36%)から0.09ポイント改善し、7.44%となりました。
- ・販売費及び一般管理費は、人材への積極的な投資に加えて、配送費の単価上昇や気候要因に伴う需要変動の変化による物流費の増加などにより前年同期から24億33百万円(8.1%)増加の326億37百万円となりました。売上高比率は前年同期(5.03%)から0.19ポイント上昇し、5.22%となりました。

動物用医薬品・食品加工原材料卸売等関連事業

(単位：百万円)

	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	増減額	増減率
売上高	58,607	58,613	+6	+0.0%
売上総利益	8,164	8,213	+49	+0.6%
(対売上高比率)	(13.93%)	(14.01%)	(+0.08pp)	
販売費及び一般管理費	6,995	6,859	△136	△1.9%
(対売上高比率)	(11.94%)	(11.70%)	(△0.23pp)	
販売費及び一般管理費(下記を除く)	5,967	5,831	△136	△2.3%
のれん・無形資産償却費(*)	1,028	1,028	-	-
営業利益	1,168	1,353	+185	+15.8%
(対売上高比率)	(1.99%)	(2.31%)	(+0.32pp)	
上記の償却費を除く営業利益	2,197	2,382	+185	+8.4%

(*) 2027メディopal中期ビジョンに掲げた成長投資に伴い発生したのれん・無形資産償却費

〔売上高〕

売上高は、前年同期から6百万円(0.0%)増収の586億13百万円となりました。

- ・動物用医薬品等卸売事業は、コンパニオンアニマル*領域では、一部の商材がメーカー直接販売となる商流変更による影響を受けたものの、取引メーカーの拡大や新商品の積極的な導入等により増収となりました。畜水産領域においても、価格交渉の激化による厳しい市場環境の中、水産ワクチンや牛用飼料原料等の需要が高まったことなどにより増収となりました。食品加工原材料卸売等関連事業は、新たなビジネス案件の創出を進め、化成品領域の販売が拡大したものの、食品領域の販売減少により減収となりました。

〔用語解説〕

※ コンパニオンアニマルとは、伴侶動物とも表現され、日常生活の中で人により密接な関係を保つような動物を指しております。

〔営業利益〕

営業利益は、前年同期から1億85百万円(15.8%)増益の13億53百万円となりました。

- ・売上総利益は、動物用医薬品等卸売事業の畜水産領域や、食品加工原材料卸売等関連事業の食品領域における価格交渉の激化があったものの、食品加工原材料卸売等関連事業における化成品領域の増収に伴い、前年同期から49百万円(0.6%)増益の82億13百万円となりました。売上高比率は、前年同期(13.93%)から0.08ポイント上昇し、14.01%となりました。
- ・販売費及び一般管理費は、前年同期から1億36百万円(1.9%)減少の68億59百万円となり、売上高比率についても前年同期(11.94%)から0.23ポイント改善し、11.70%となりました。これは、食品加工原材料卸売等関連事業において人件費等が減少したことによるものです。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	261,407	276,633
受取手形及び売掛金	763,541	816,296
商品及び製品	178,100	190,503
その他	79,739	85,769
貸倒引当金	△42	△41
流動資産合計	1,282,746	1,369,160
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	103,180	103,599
土地	117,285	117,284
その他（純額）	48,098	44,425
有形固定資産合計	268,564	265,309
無形固定資産		
のれん	13,150	12,525
顧客関連資産	16,392	15,761
その他	10,356	9,931
無形固定資産合計	39,898	38,218
投資その他の資産		
投資有価証券	199,078	194,739
その他	35,341	40,836
貸倒引当金	△644	△642
投資その他の資産合計	233,774	234,933
固定資産合計	542,237	538,462
資産合計	1,824,984	1,907,622

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	932,474	1,002,231
未払法人税等	13,329	19,757
賞与引当金	7,854	7,616
固定資産撤去費用引当金	167	167
独占禁止法関連損失引当金	2,233	—
その他	53,387	58,204
流動負債合計	1,009,447	1,087,977
固定負債		
退職給付に係る負債	16,057	14,051
その他	41,532	39,456
固定負債合計	57,590	53,507
負債合計	1,067,037	1,141,484
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,398	22,398
資本剰余金	100,010	100,020
利益剰余金	463,071	477,279
自己株式	△22,193	△28,569
株主資本合計	563,286	571,129
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66,060	63,166
繰延ヘッジ損益	△37	6
土地再評価差額金	△13,518	△13,518
為替換算調整勘定	2,646	1,984
退職給付に係る調整累計額	1,126	910
その他の包括利益累計額合計	56,277	52,549
新株予約権	1	1
非支配株主持分	138,381	142,457
純資産合計	757,947	766,138
負債純資産合計	1,824,984	1,907,622

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	1,824,672	1,897,562
売上原価	1,698,231	1,767,283
売上総利益	126,441	130,279
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	36,918	37,893
福利厚生費	7,413	7,486
賞与引当金繰入額	7,197	7,273
退職給付費用	1,412	1,188
配送費	11,858	12,547
地代家賃	2,493	2,824
減価償却費	6,732	6,722
その他	25,251	29,260
販売費及び一般管理費合計	99,278	105,196
営業利益	27,162	25,083
営業外収益		
受取利息	12	88
受取配当金	1,565	1,690
情報提供料収入	4,260	4,316
不動産賃貸料	1,223	1,275
持分法による投資利益	606	2,220
その他	1,241	1,357
営業外収益合計	8,909	10,948
営業外費用		
支払利息	3	6
不動産賃貸費用	826	1,157
投資事業組合運用損	24	453
その他	137	144
営業外費用合計	991	1,762
経常利益	35,080	34,269
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	4,912	9,938
その他	69	481
特別利益合計	4,983	10,419
特別損失		
固定資産除売却損	28	24
減損損失	168	369
事業構造改善費用	—	4,291
その他	93	193
特別損失合計	290	4,879
税金等調整前中間純利益	39,774	39,809
法人税、住民税及び事業税	19,982	19,286
法人税等調整額	△7,777	△6,962
法人税等合計	12,204	12,324
中間純利益	27,569	27,485
非支配株主に帰属する中間純利益	5,842	5,394
親会社株主に帰属する中間純利益	21,727	22,090

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	27,569	27,485
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,165	△1,793
繰延ヘッジ損益	△55	51
退職給付に係る調整額	△156	△259
持分法適用会社に対する持分相当額	1,748	△442
その他の包括利益合計	7,701	△2,444
中間包括利益	35,271	25,040
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	29,333	18,363
非支配株主に係る中間包括利益	5,938	6,677

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	39,774	39,809
減価償却費	8,508	8,577
のれん償却額	638	625
賞与引当金の増減額(△は減少)	△677	△237
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△61	△3
災害損失引当金の増減額(△は減少)	△403	—
独占禁止法関連損失引当金の増減額(△は減少)	—	△2,233
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△105	△2,006
売上債権の増減額(△は増加)	△13,703	△52,760
棚卸資産の増減額(△は増加)	△25,556	△12,440
仕入債務の増減額(△は減少)	56,666	69,756
その他	△13,417	△12,478
小計	51,660	36,608
利息及び配当金の受取額	2,608	2,829
利息の支払額	△2	△2
保険金の受取額	—	478
災害損失の支払額	△406	—
独占禁止法関連支払額	—	△1,573
法人税等の支払額	△12,027	△12,838
営業活動によるキャッシュ・フロー	41,832	25,501
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,070	△4,733
有形固定資産の売却による収入	2	1
投資有価証券の取得による支出	△356	△486
投資有価証券の売却及び償還による収入	5,943	12,759
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△3,403	—
その他	△1,635	△2,258
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,520	5,283
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△5,068	△6,420
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,503	△951
配当金の支払額	△6,300	△6,654
非支配株主への配当金の支払額	△1,518	△1,639
その他	14	△296
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,376	△15,962
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	20,931	14,825
現金及び現金同等物の期首残高	228,084	259,337
現金及び現金同等物の中間期末残高	249,016	274,163

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	医療用医薬品等卸売事業	化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業	動物用医薬品・食品加工原材料卸売等関連事業	計	調整額 (注) 1	中間連結損益計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	1,165,840	600,226	58,606	1,824,672	—	1,824,672
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,795	201	1	1,998	△1,998	—
計	1,167,635	600,427	58,607	1,826,671	△1,998	1,824,672
セグメント利益	11,854	13,977	1,168	27,001	161	27,162

(注) 1. セグメント利益の調整額161百万円には、セグメント間取引消去1,506百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,344百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	医療用医薬品等卸売事業	化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業	動物用医薬品・食品加工原材料卸売等関連事業	計	調整額 (注) 1	中間連結損益計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	1,213,953	624,996	58,612	1,897,562	—	1,897,562
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,846	139	1	1,987	△1,987	—
計	1,215,799	625,135	58,613	1,899,549	△1,987	1,897,562
セグメント利益	9,673	13,894	1,353	24,922	160	25,083

(注) 1. セグメント利益の調整額160百万円には、セグメント間取引消去1,586百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,425百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

株式会社MVCは、2025年4月1日付で、当社の連結子会社である株式会社アトルを存続会社とする合併を行ったため、当中間連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(重要な後発事象の注記)

1. 取得による企業結合

当社の連結子会社であるMPアグロ株式会社は、動物病院向けの電子商取引（EC）事業を展開するシグニ株式会社の全株式を保有するシグニホールディングス株式会社の全株式を、同社の親会社である ベーシック・キャピタル・マネジメント株式会社が運営するBCM-V投資事業有限責任組合から株式譲渡により取得する契約を締結しました。

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 シグニホールディングス株式会社（シグニ株式会社の親会社）

事業の内容 ・医療機関（動物病院、医療、福祉施設など）への医療必需品の販売ならびに経営支援サービスの提供
・ペットショップおよびペットオーナーへのペット用品の販売

②企業結合を行う主な理由

当社は、「2027メディopal中期ビジョン」の実現に向けて、アグロ・フーズ領域の事業拡大を成長戦略の一つと位置付けており、コンパニオンアニマル関連製品や食品加工原材料に係る事業を強化・拡大しています。

MPアグロ株式会社が全国の動物病院をカバーするシグニ株式会社を子会社とすることで両社の強みを生かしたシナジーを創出します。大規模市場での販売を強化するとともにEC販路を拡大し、コンパニオンアニマル関連商品における事業拡大をスピーディに実現していくことが可能になるものと考えています。

③企業結合日

2025年12月19日（予定）

④取得後の持分比率

取得後の持分比率 100%